

## 辰川会グループ 成人式

左) 特別養護老人ホームしんがい 介護員 押川さん  
右) 山陽病院 准看護学生 穴井さん、看護助手 中西さん

1月12日に辰川会グループの成人式を行いました。今年は新型コロナウイルス感染対策のため、例年のようにグループ全体ではなく、医療事業部と介護事業部で分かれ、出席人数も制限して行いました。

医療事業部では辰川匡史理事長から、介護事業部では辰川和美副会長から、新成人へお祝いの言葉と記念品が贈られました。

今年度は3人のスタッフが新成人の仲間入りをし、「自分の行動に責任を持って頑張りたい」「仕事も私生活も充実させて素敵な大人になりたい」などと抱負



を述べました。見守った先輩職員からは門出を祝う大きな拍手が送られました。

新成人のみなさん、コロナ禍で大変な時期ですが、笑顔忘れず、これからも一緒に前へ進んでいきましょう！

## 会長サンタ登場！

12月24日、辰川自光会長がサンタクロース姿に変装し、山陽病院の病室に登場しました！クリスマスの音楽とともに会長サンタと職員たちが「メリークリスマス！」と笑顔で声をかけプレゼントを渡すと、患者様にもこやかな表情になり喜んでいただきました。

コロナ禍の中、家族との面会を禁止させていただいているため、みなさまに少しでも笑顔をお届けできればうれしく思います。



## 病院機能評価更新受審に向けて

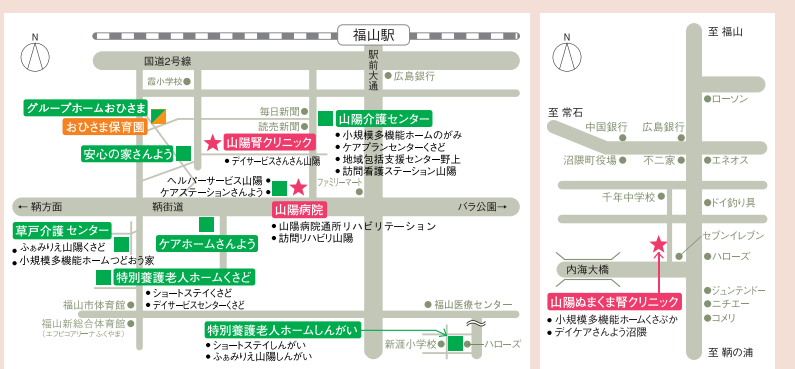
事業本部 瀬尾昌展

病院機能評価は、病院が地域に根差し、安全・安心で、質の高い医療を提供していくために、第三者による評価を行うものです。山陽病院はこの病院機能評価を2002年から受けており、今回は2021年12月に更新受審予定です。受審に向けての第一歩として、このたび3日間の現状調査を実施しました。

受審は約1年後となりますが、各部署で規程やマニュアルを見直ししたり、業務の手順を確認したりして準備を進めています。これまで以上に質の高い医療を提供し、地域の皆様に信頼される病院であり続けられるよう、日々改善を続けていきます。



辰川会グループ  
[医療法人辰川会]  
山陽病院 外科/内科/泌尿器科/整形外科/リハビリテーション科  
〒720-0815 福山市野上町2丁目8番2号 Tel.(084) 923-1133(代) Fax.(084) 923-1158  
山陽腎クリニック 人工透析外科/人工透析内科  
〒720-0815 福山市野上町1丁目7番8号 Tel.(084) 928-5500(代) Fax.(084) 928-5535  
山陽ぬまくま腎クリニック 透析外科/透析内科/外科/内科  
〒720-0311 福山市沼隈町草家2031-1 Tel.(084) 980-0034(代) Fax.(084) 987-3450  
[社会福祉法人しんがい]  
特別養護老人ホームくさど  
〒720-0831 福山市早戸町5丁目8番24号 Tel.(084) 973-9911(代) Fax.(084) 928-9988  
特別養護老人ホームしんがい  
〒721-0955 福山市新道町3丁目19番27号 Tel.(084) 961-3955(代) Fax.(084) 9261-3950



# ふれあい

心のふれあい 花のよう

「グループ理念」ともに歩む、ともに生きる



124  
2021.1発行  
TAKE FREE  
辰川会 広報誌



## クリスマスコンサート開催

地域連携室 公認心理師 佐野ひかり

山陽病院3階の地域包括ケア病棟では、第1・3土曜日、第2・4金曜日に「お楽しみ会」を開催しています。お楽しみ会では、脳の活性化や入院生活を楽しんでいただくことを目的として、スタッフが患者様と一緒にレクリエーションをしたり、歌を歌ったりしています。

12月25日にはその一環として、クリスマスコンサートを開催しました。当日は当院スタッフによるピアノ・バイオリン・フルートのセッション、ハンドベルやバリトンウクレレの演奏があり、「ウィンター・ワンダーランド」「サンタが街にやってくる」「きよしこの夜」などクリスマスらしい曲が演奏されま

した。アンコールでは演奏者全員が「赤鼻のトナカイ」を演奏し、コンサートは大盛況のうちに幕を閉じました。

音楽を聴いたり歌ったりすることには、心身機能の維持・改善、生活の質の向上などの良い効果があります。そうした音楽の持つ特性を活用した「音楽療法」は、介護・福祉、医療、教育などさまざまな領域で実施されています。認知症のある方に対しては、不安が和らぐ、自伝的記憶（経験した出来事に関する記憶）が改善するなどの効果がみられているため、当院では今後も積極的に行っていく予定です。

## 訪問看護ステーション山陽移転のお知らせ

訪問看護ステーション山陽は、11月24日に山陽介護センター野上1階へ移転しました。

訪問看護は、病気や障がいにより在宅で療養されている方のご自宅に看護師が訪問し、療養生活を支援するサービスです。転倒や感染で入退院を繰り返す、失禁する、自宅での入浴が不安、服薬管理、床ずれ予防、医療器具の管理、創傷処置、介護疲れなどで困った時は、お気軽にご相談ください。医師やケアマネジャーなどの専門職と連携をとりながら、療養上のお世話など安心して自宅で



生活が出来るように24時間365日在宅療養を支援します。このたび、「心臓いきいき在宅支援施設」に認定され更に支援の幅が広がりました。これからも多くの方に頼りにされる訪問看護を目指していきます。

〒720-0815 福山市野上町1丁目2番17号 (山陽介護センター1階) ☎ (084) 921-1780 または 080-5236-6867

## 感染対策の取り組みについて

山陽病院 臨床検査技師 西本尚子

山陽病院では、患者様や職員に安全で快適な医療環境を提供するため、感染防止・感染制御の対策に取り組んでいます。

院内感染対策委員会を、医師・薬剤師・看護師・臨床検査技師・診療放射線技師・管理栄養士・臨床工学技士・リハビリ職員・事務職員などの多職種で構成し、院内感染の防止・対策を迅速に行うことを目的に、毎月定例会議を開催し、感染報告・感染情報の共有を行っています。

また、感染対策チーム(ICT:Infection Control Team)を委員会メンバーから選び、院内の感染状況の確認や感染予防対策を徹底するため、毎週ラウンド(巡回)を行っています。感染予防の環境が整っているか、感染予防マニュアルに沿った適切な対策を実施しているか、

感染予防の手技は正しく行っているかなどをチェックし、定例会議での報告を行っています。

患者様への感染防止や職員が感染源にならないための環境整備・手指衛生・マスク・手袋・个人防护具の適切な使用の教育や指導も行っています。

外来では、来院時に体温チェックを行い、発熱のある患者様と一般診察の患者様が接しないように、入り口や通路、診察室も分けています。また、8月からは山陽病院正面玄関前に発熱外来用のエアコン付きプレハブを設置しました。発熱や風邪の症状がある方は、自家用車やプレハブ診察室での対応を行っておりますので安心して受診していただけます。

皆さまにはご不便等をおかけすることもあると思いますが、感染対策にご理解、ご協力をお願いいたします。

院内感染対策委員会メンバー



## 住み慣れた地域で自分らしく暮らすために

在宅医療推進マネジャー 遊佐美香



この度、在宅医療推進マネジャーという役割を担うことになりました看護師の遊佐(ゆさ)です。

私の仕事をひとことで言うと、病気療養や介護が必要となっても、

住み慣れた場所で自分らしく安全な生活が続けられるよう、病院やクリニックと在宅を繋ぐ「架け橋」になることです。

例えば、入院患者さんの「退院後の生活に対する不安」により添い、どうすれば不安なく在宅で生活できるかを共に考えていきます。様々なサービスや社会資源を活用することで在宅での生活が可能となることが多くあります。また、訪問看護師として退院時に自宅に同行する事もあります。退院後落ち着くまでしばらくの間頻りに訪問

看護を利用することもできます。実際に生活する「すまい(在宅)」へ行くことで、見えてくる生活背景や予防できるリスク等もあり、感染対策や転倒予防などについてお伝えすることもあります。

また、腎クリニックをはじめその他の施設スタッフとの連携を強化し、腎クリニックへ維持透析に通われている方々や施設入所中の方々の、軽度の体調不良や療養中の不安など、誰に話せばいいのかわからないといった相談にも応じます。在宅療養中に入院治療が必要と察した場合は、早急に医師に相談し、必要な対応ができるよう地域連携室とも連携を図ります。

「ときどき入院、ほぼ在宅」が実現できるように、地域の方々に開かれた気軽に相談できる窓口になりたいと願っています。地域の専門職の方々とも垣根を越え、「この町に住んで良かった」と一人でも多くの方々に感じていただけるよう力を注ぎます。どうぞよろしく願いいたします。

## 新入職員リフレッシュ研修

山陽病院 臨床工学技士 池田昇平

11月14日、福山少年自然の家で行われたリフレッシュ研修に参加してきました。この研修では同期と親睦を深めチームワーク力を高めるため、SAF(サーフ)プログラムとウォークラリーを行いました。

SAFプログラムは、良好な人間関係づくりを促進する体験学習法で、体を動かす課題解決型ゲームを行い、与えられた課題をチームで協力しながらクリアしていくものです。両隣の人と指をつけたまま全員が前後の向きを変えるには？などの難しい課題もありましたが、「こうすればいいんじゃないかな？やってみよう！」などと声をかけ合い、試行錯誤しながらも達成することができました。みんなと協力することで、自分には思いつかないような案も浮かび、共有することで大きな力になることを実感しました。

また、約1時間のウォークラリーでも協調性の大切さを学びました。4人1チームで、それぞれが異なるコマ図と

いう断片地図を持ち、その地図を手がかりに目的地を目指すものです。途中でコースを外れるというハプニングもありましたが、焦らずに再度地図と景色を照らし合わせることでゴールできました。道が険しく苦勞もしましたが、仲間とスキンシップを取りながら同じ目標に向かって尽力できたので、達成感もありとても楽しかったです。

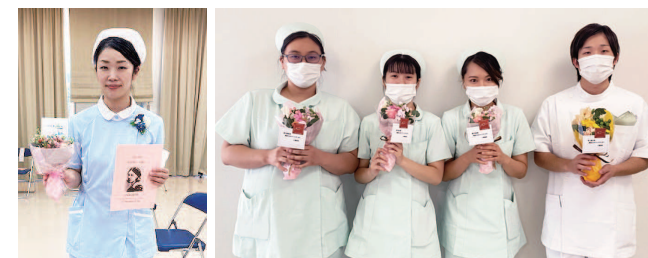
入職して半年以上経ち、自身の成長を実感しつつも、まだ1人ではできないこともたくさんあります。今回の経験を生かし、スタッフとコミュニケーションを取りながらそれぞれの患者様に合った最善な医療が提供できるよう努めていきたいと思っています。



## 戴帽式

特別養護老人ホームくさど 准看学生 荒川慶伍

12月3日、福山市医師会看護専門学校の戴帽式を終え、女性にナースキャップ、男性にポケットチーフを授かり、コロナ禍の時代に看護の道を歩む決意と専門職としての心構えを新たにしました。



左) 11/19 尾道准看護学院の宣誓式 田中さん  
右) 12/3 福山医師会看護専門学校の戴帽式 新宅さん、坂田さん、荒川さん

日々の医療現場のひっ迫した現状をテレビで目の当たりにし、看護師の悲鳴を上げるような業務の様子に不安や未知の病気に対する恐怖を感じるとともに、看護師という職にますます尊敬の念が深まります。

また、学校生活も始まってすぐに休校になり、自宅学習をする等、例年通りにはいかない状況の中、講義時間を調整して下さる先生方、生徒皆が感染予防を徹底するなどの協力があり、学校での学習を続けることができています。

これから様々な壁にぶつかることもあると思います。その時は戴帽式での誓いを思い出し、多くの方の支えや感謝の気持ちを忘れることなく、日々努力し続けたいと思います。

## おひさま保育園 クリスマス会



園長 藤井泉美

12月25日、毎年、保護者の方に観ていただいていた「クリスマス発表会」は、新型コロナの感染状況を鑑み中止し、今年は園児たちだけで「クリスマス会」を行いました。

保育士の出し物から始まって、クリスマスソングを歌いサンタさんが登場…今年初めてサンタさんに会う子は大泣きで抱っこしてもらったり、去年は泣いていた子が笑顔

でサンタさんに近づいてハイタッチしたり、コロナに負けないくらいの笑い声と笑顔



あふれる賑やかなクリスマス会となりました。

おやつに保育士手作りのプチケーキを食べて、サンタさんからもらったプレゼントを大事そうに両手で抱えて帰りました。

これからもコロナに負けずに楽しい行事をたくさん取り入れていきたいと思っています。